

平成 29 年 10 月～平成 30 年 3 月分 モニタリング評価表

施設名 就労継続支援 A 型施設

社会福祉法人

指定管理者 和光市社会福祉協議会

評価内容	検査項目	評点
①サービスの維持・向上に向けた取組が行われているか。	1 利用者サービスの向上や利用促進のための取組がされたか	<u>2.25</u>
	2 利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか	<u>2.75</u>
	3 人権尊重に配慮したサービス提供、情報提供がされたか	<u>2.5</u>
	4 利用者意見、要望が管理運営に反映されたか	<u>3</u>
<b>【工夫・改善点等】</b> ・サービス向上、利用促進を図りつつ、経営面での向上も図る必要性が感じられる。 ・要望を叶えるだけでなく、利用者（親を含む）の意識を向上させる努力も必要。		
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	1 適正な施設の維持管理、運営が行われたか	<u>3.25</u>
	2 備品台帳により記録が適切に保管されているか	<u>3.75</u>
	3 市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	<u>3.75</u>
	4 必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	<u>3.75</u>
<b>【工夫・改善点等】</b> ・ヒヤリハットの書式が A 型と B 型で違っているので、統一したほうが良い。		
③緊急時の対応、安全管理などの危機管理が適正に行われているか。	1 事故、苦情に対する対応は適切であったか	<u>2.75</u>
	2 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	<u>3.5</u>
	3 避難経路は適切に確保されているか	<u>3.75</u>
	4 事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	<u>3.75</u>
<b>【工夫・改善点等】</b>		

④快適な職場環境を実現し、職員の安全と健康が確保されているか。	1 適正な人員(人数、有資格者)が配置されたか	<u>3</u>
	2 スタッフのシフトは適正であるか	<u>3.5</u>
	3 事業計画書に即した内容・頻度で教育・研修を実施したか	<u>2.75</u>
	4 施設内が整理整頓されているか	<u>3</u>
<b>【工夫・改善点等】</b> ・自身が行う業務の理解度を深め、経営力の向上を図る必要性があると感じられる。		
⑤指定管理者としての努力がなされているか。	1 指定管理事業及び自主事業は当初計画と整合しているか	<u>3</u>
	2 収支状況は当初計画と整合しているか	<u>2</u>
	3 経理事務が適正に処理されているか	<u>3.75</u>
	4 経費削減への取組がされているか	<u>3.25</u>
<b>【工夫・改善点等】</b> ・利用者の定員が埋まっていない点について、川越まで範囲を広げて声掛けをしているが、なかなか難しい。		
<div style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">63 点</span> (評点の合計)         </div>		
<b>結果</b> _____ × 100 = 78.8% (評点の割合)		
<div style="text-align: right;"> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">80 点</span> (最高点の合計)         </div>		

※ 施設の性格や設置目的等により、適切な評価内容となるよう適宜変更すること。

#### 評点の基準例

評点の基本的な考え方	点数
協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(優良)	4点
協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(良好)	3点
協定書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(課題含)	2点
協定書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(要改善)	1点